

番号	措置名	交付金事業の名称	
7	地域活性化措置	水戸市英会話教育推進事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		茨城県（水戸市）	
交付金事業実施場所		水戸市立 保育所，幼稚園，小学校，中学校，義務教育学校	
交付金事業の概要		英語指導助手による英会話教育（英語指導助手39名）	
総事業費	132,697,539	交付金充当額	125,000,000
		うち文部科学省分	81,895,763
		うち経済産業省分	43,104,237
交付金事業の成果目標	<p>水戸市においては、グローバル社会で活躍することができる人材の育成に向け、小・中・義務教育学校をはじめ、幼稚園、保育所において、AETによる英会話教育を推進するとともに、小・義務教育学校5，6年生の英会話授業のオール・イン・イングリッシュ化に取り組むことを第6次総合計画に位置付けています。</p> <p>市民全体の国際理解や英会話への関心を高め、市民間での外国人との積極的な交流や外国人を広く受け入れる環境の整備の推進をし、また、国際化に対応した人材が育成をし、将来的には、市域内での国際交流事業の拡大や国際会議の開催、さらには、国際的な交流等を活用した産業の振興など、社会経済的な活性化の推進に繋げるため、本交付金事業によりAETによる子どもたちの実践的な英会話教育といった先進的な取組を実施し、水戸市独自で実施する小学校における英会話力調査においてA評価を得る児童数を増加させます。</p>		
交付金事業の成果指標	英会話力調査におけるA評価取得児童数 85%		
交付金事業の成果及び評価	<p>平成29年度は、小学校に23名，中学校に15名，義務教育学校に1名の英語指導助手を配置し，小学校及び義務教育学校前期課程では年間1・2年生は30時間，3・4年生は40時間，5・6年生は70時間実施しました。中学校及び義務教育学校後期課程では，英会話の授業を設け，国の基準を上回る英語の授業時数を実施しました。また，全ての保育所・幼稚園に英語指導助手を派遣し各々年間平均30時間程度の英語あそびを実施しました。</p> <p>平成29年10～12月に実施した「英会話力調査」では，小・義務教育学校前期課程全学年の約8割を超える児童が「ほとんど間違いなく英語指導助手の英語による質問に答えることができる」という結果が出ています。また，A評価を得た児童数の割合は，第1学年83.3%，第2学年88.2%，第3学年83.6%，第4学年86.1%，第5学年84.7%，第6学年86.1%であり，第1学年から第6学年全校の平均は85.3%で，成果目標としている85%を超えました。</p> <p>平成29年10月に実施した「英語あそび・英会話・英語学習に関する意識調査」では，英会話の時間が「とても楽しい」または「楽しい」と答えた児童は小・義務教育学校前期課程全学年で約9割を超えています。また，全児童の約1/4が学校以外で英語学習に取り組むなど，英語に対する興味・関心が高い状況です。中学校及び義務教育学校後期課程でも，英会話学習を「楽しい」または「どちらかという楽しい」と答えた生徒は約7割おり，概ね高い関心を示しています。保育所，幼稚園においても，多くの子どもたちが英会話指導助手の来所，来園を心待ちにし，親しみを持って一緒に遊んでいることを保育士，教師及び保護者が実感しています。</p> <p>以上のことから，水戸市立保育所・幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校の子どもたちが，英会話教育を通して身近な英語に慣れ親しみ，英語を聞く力・話す力を高め，英語による実践的コミュニケーションの基礎を養うといった当事業の目的に対し，成果が表れているといえます。</p>		

交付金事業の契約の概要			
契約の目的	契約の方法等	契約の相手方	契約金額
人件費	雇用	-	132,697,539
	計		
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無	無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	H33